

中学校社会科（歴史的分野）学習指導案

単元名 横浜から学ぶ、日本の産業革命	内容のまとめり C 近現代の日本と世界 (1) 近代の日本と世界 (イ) 明治維新と近代国家の形成
------------------------------	--

1 単元目標

- ・ 日本の産業革命を基に、近代産業が発展し、近代文化が形成されたことを理解する。
- ・ 日本の産業革命に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択し、多面的・多角的に考察し、表現する。
- ・ 原三溪と横浜線の歴史から日本の産業革命への関心を高め主体的に追究しようとする態度を養う。

2 単元を通して身に付けさせたい資質・能力

明治維新政府は、「文明開化」と呼ばれる欧化政策を進めながら、日本の政治・経済・産業・社会の近代化を進めた。特に産業においては、「富国強兵」というスローガンのもと、「殖産興業政策」を推進した。1872（明治5）年に群馬県に初の官営模範工場である富岡製糸場が作られた。特に富岡製糸場は、横浜の貿易商 原富太郎[原三溪]が経営していたこともあり、横浜とのつながりもある。また現在の国道16号線[八王子往還]とJR横浜線は「絹の道」と呼ばれ、発達したものである。

そこで本単元では、横浜出身の原富太郎の活躍と横浜線と国道16号線の発達から、1872年より操業した富岡製糸場と1901（明治34）年より操業した八幡製鉄所が日本の産業革命に果たした役割と、横浜港がこの当時「東洋ノ一大港場」と呼ばれた理由を考えさせたい。

3 実践計画の概要

(1) 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 開国とその影響、富国強兵・殖産興業政策、文明開化の風潮などを基に、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解している。	・ 工業化の進展と政治や社会の変化、明治政府の諸改革の目的、議会政治や外交の展開、近代化がもたらした文化への影響、経済の変化の政治への影響、戦争に向かう時期の社会や生活の変化、世界の動きと我が国との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	・ 近代の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
・ 日本の産業革命に大きな役割を果たした富岡製糸場と横浜で活躍した貿易商原三溪（原富三郎）に関する諸資料を通じて、近代産業が発展したことを理解している。	・ 日本の産業革命に大きな役割を果たした富岡製糸場と横浜で活躍した貿易商原三溪に関する諸資料に注目し、近代産業が発展した理由を多面的・多角的に考察し、表現している。	・ 日本の産業革命に大きな役割を果たした富岡製糸場と横浜で活躍した貿易商原三溪に関する諸資料を基に、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

(2) 指導と評価の計画 [2時間扱い]

学習活動と内容 (時間数) 2時間	主な資料 (◆) と教師の支援 (◇) など
<p>1 原三溪・横浜線と富岡製糸場 本時</p> <p>世界遺産登録された富岡製糸場と、横浜にゆかりのある事柄[明治・大正期の貿易商原富三郎の業績・横浜線の歴史・八王子往還(国道16号線)]から、日本の産業革命と横浜のつながりを表現する。</p>	<p>◆原富三郎肖像画(資料1)</p> <p>◆三溪園のイラストマップ [『横濱 2010 年秋号三溪園 名園の魅力と原三溪をめぐる人々』](資料2)</p> <p>◆生糸商標「富岡製糸場」(資料3)</p> <p>◆上州富岡製糸場之図[竹葉図](資料4)</p> <p>◆上州富岡製糸場之図[国輝図](資料5)</p> <p>◆東京附近省線改良計画図(資料6)</p> <p>◆神奈川道の広がり(資料7)</p> <p>◇資料1→2→3→4→5を順番に提示し、原富三郎[原三溪]の功績から、富岡製糸場と横浜のつながりを表現させる。</p> <p>◇資料6・7から、八王子往還と横浜線により、富岡製糸場で生産された製糸が、横浜に運ばれ、海外に輸出するための重要な役割を果たしていたことに気づかせる。</p>
<p>2 「東洋ノ一大港場」と呼ばれた横浜港の発展と、日本の産業革命</p> <p>日本の産業革命について、日本の産業革命の発展とともに横浜港が繁栄した理由を歴史的資料などから考える。</p>	<p>◆「1868(明治元)年から1889(明治22)年までの横浜の輸出総額における主要輸出品の割合」[出典は『横浜市史』(第3巻下)](資料8)</p> <p>◆歴史資料集</p> <p>◇横浜港の発展と生糸輸出の関係を資料から読み取らせる。</p> <p>◇歴史資料集から、日本の産業革命が製糸業などの軽工業から、八幡製鉄所で見られる重工業へと変化した理由を諸資料から気づかせる。</p>

4 本時目標

- ・日本の産業革命について、原富三郎・富岡製糸場・横浜線に関する様々な資料から、多面的・多角的に考察し、表現する。
- ・日本の産業革命を通じて、横浜港が発達した役割について主体的に追究しようとする態度を養う。

5 本時展開

主な学習活動と内容	主な資料（◆）と教師の支援（◇）など
<ul style="list-style-type: none"> ・原富三郎の肖像画を提示する。 ・三溪園のイラストマップを提示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆原富三郎（資料1） ◆三溪園のイラストマップ（資料2） ◇「横浜にゆかりのある人の肖像画です。この人物は誰かわかりますか？」・「このイラストマップは、この人物に関係のある施設です。知っていることはありませんか？」など発問し、注目させる。
<ul style="list-style-type: none"> ・提示した資料をもとに、原富三郎と富岡製糸場のつながりに気づく。 <div data-bbox="181 831 786 1122" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【予想される生徒の反応】</p> <p>S：大日本上野国富岡製糸場と書いてある！</p> <p>S：生糸 [または絹糸] です。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ◆生糸商標「富岡製糸場」（資料3） ◆上州富岡製糸場之図 [竹葉図]・[国輝図]（資料4） ◆生糸商標 [原富岡製糸場]（資料5） ◇資料3→4→5を順番に提示し、内容を読み取らせる。 <div data-bbox="810 831 1437 1122" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【発問例】</p> <p>T：（資料3）は、ある商品に貼られたラベルです。</p> <p>どんな商品なのか読み取ってみましょう。</p> <p>T：富岡製糸場では何が作られていた工場でしょうか。</p> </div>
<ul style="list-style-type: none"> ・富岡製糸場と横浜とのつながりを考える。 <div data-bbox="181 1319 786 1473" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【予想される生徒の反応】</p> <p>S：生糸の生産地が多かった群馬県と貿易港として発展した横浜を結ぶためかな？</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ◇資料6・7を使い、国道16号線の発達と、横浜線が開業した理由を考えさせる。 ◆横浜線を中心とした鉄道路線図（資料6） ◆神奈川道の広がり（資料7） <div data-bbox="810 1319 1437 1473" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【発問例】</p> <p>T：横浜線が、東神奈川から八王子間を結ぶ鉄道として開業したのはなぜでしょうか。</p> </div>

6 博物館との連携（参考文献など）

横浜市ふるさと歴史財団・横浜開港資料館では、2014（平成26）年4月より7月にかけて、企画展「蚕の化せし 金貨なり…」 - 明治大正の生糸産地と横浜」を開催し、併せて展示図録を編集した。本指導案は、その時の図録を中心資料として活用している。

導入では、横浜市民憩いの場であり全国的にも名が知られている三溪園とその庭園を造成し、また当時の生糸貿易で活躍した原富三郎（三溪）について紹介し、富岡製糸場とのかかわりを通して、日本の産業革命について考えるようにしている。

子どもたちは、富岡製糸場が世界遺産に登録され話題になったことをよく知っているため、学習への関心意欲も高まることと考えられる。以下、指導で活用した資料及び出典である。

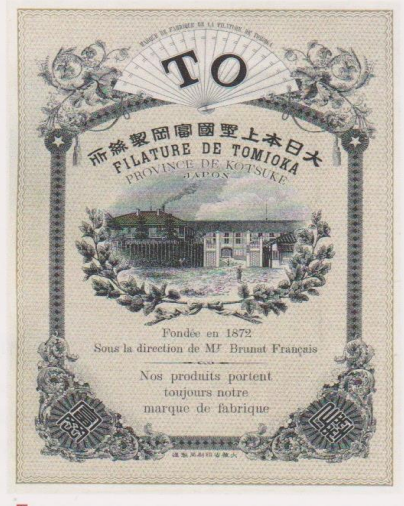
- ・横浜開港資料館企画展「蚕の化せし 金貨なり…」展示図録

(資料1) 原富太郎



出典 三溪園

(資料3) 生糸商標「富岡製糸場」



(資料2) 「横浜三溪園のイラストマップ」



出典 横浜三溪園ホームページ

(資料4) 上州富岡製糸場之図 [竹葉図]・[国輝図]



3

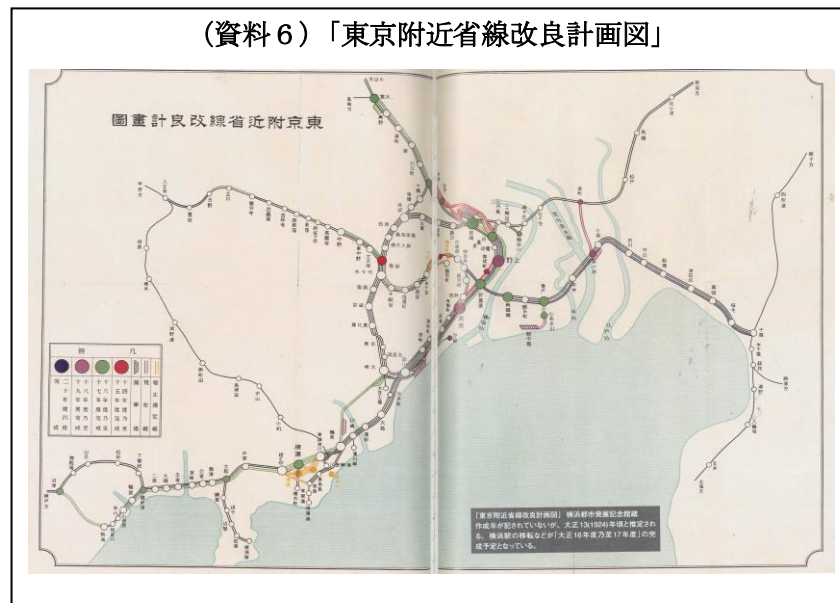


4

(資料5) 生糸商標 [原富岡製糸場]



(資料6) 「東京附近省線改良計画図」



- 横浜開港資料館企画展示『蚕の化せし 金貨なり…』パネル、図録
- 横浜開港資料館発行『横浜のあゆみ (第2版)』
- 横浜市歴史博物館企画展示図録『陸の道と海の道』 p. 26-27
- 横浜都市発展記念館発行『「地図」で探る横浜の鉄道』 p. 68-69